

VHF帯での利用を計画する具体的システムの提案募集

本提案募集における留意事項

○本提案募集の対象は、207.5MHz以上222MHz以下の周波数（以下「VHF帯」という。）に限りますが、既存の技術基準、周波数割当計画（放送業務用）等に限る必要はありません。

※本提案募集の周波数に関して参考となる資料は次のとおりです。

・周波数再編アクションプラン（平成29年11月改定版）

<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000244.html>

・携帯端末向けマルチメディア放送方式の技術的条件（一部答申）

<http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/policyreports/joho_tsusin/bunkakai/20146.html>

※その他参考事項として、調査対象の周波数（207.5MHz以上222MHz以下）については、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会周波数基本計画」において、東京オリンピック・パラリンピック競技大会で使用する無線機器に対する割当可能な周波数の候補とされています。

<<https://tokyo2020.jp/jp/games/plan/environmental-arrangement/>>

○本提案募集への回答はあくまで任意であり、本提案募集への対応によって今後検討される技術基準等の内容が制限されるものではありません。また、本提案募集に応じていただいたことをもって、提案が認められるものではありません。

○本提案募集に対する提案については、その提案が技術実証の結果を踏まえて制度整備に反映された場合、意見公募等の手続きを経た上で、その提案を行った事業者に一定の配慮を行うことを検討する予定です。

○募集結果については、総務省において取りまとめ、その全部又は一部について公表を行う可能性があります。提案内容の全部又は一部について非開示を希望される場合には、その旨及び非開示項目を明確にご記載ください。

※（記載例）「2(1)の項目のうち、××と記載した部分について非開示とします。」

○回答様式は適宜で構いませんが、各項目について記載してください。

○回答は可能な限り具体的に行ってください。また、必要に応じて説明図、参考資料等を添付してください。

○回答いただいた方について、必要に応じて任意にヒアリングをお願いする場合があります。なお、ヒアリングにあたって発生する交通費等は支給されません。

○複数のシステムについて回答される場合は、システムごとに別葉にしてください。

提案募集項目

- 1 提案するシステムの名称及び概要を記載してください。
※システムの概要が1,000字を超える場合は1,000字以内の概略を付してください。
- 2 提案するシステムを用いて行うサービスについて、以下の項目ごとに記載してください。
 - (1) サービスの内容及び需要見込み
※具体的な利用イメージについても記載してください。その際、都市部と中山間地域、県域単位など、地域ごとに利用が異なる場合はそれも踏まえて記載してください。
※既存システム・既存サービスで対応できない理由についても記載してください。
※サービスの有料・無料の別や事業計画等についても可能な範囲で記載してください。
 - (2) サービスの開始時期
※サービスの開始までに想定される主な工程及びそれに要する期間についても記載してください。
 - (3) サービスの開始に向けて想定される課題
- 3 提案するシステムに関する、制度・技術的事項について、以下の項目ごとに記載してください。
 - (1) VHF帯の使用を必要とする理由
 - (2) 希望する無線局の種別及び無線局の目的
 - (3) 利用を希望する周波数、占有周波数帯幅、通信方式並びにそれらの理由
 - (4) 周波数の有効利用に関する取組
※無線局間で周波数共用を行う場合は、その技術的方法を記載してください。
 - (5) 国内・国外における技術開発動向
※研究開発、標準化、実用化等の動向について記載してください。
※国外において既に制度化されている場合は、併せて記載してください。
 - (6) 技術基準等の制度整備に向けて想定される課題
- 4 その他に御意見がありましたら記載してください。